

## 令和4年度受講生の募集について

募集期間	令和4年7月5日(火)～8月5日(金) ※先着順とし、募集期間内で募集を取り止める場合もあります。 また、業種業態によってご受講頂けない場合があります。
受講期間	令和4年8月26日(金)～11月25日(金)
受講時間	9:30～16:00(12:00～13:00は昼休憩とします)
場所	【基礎編】「zoom」を利用したオンライン授業 【現場活用編】受講される方の勤務先 ※8月26日(金)、11月25日(金)はリアル(集合形式)で開催予定。
募集定員	10名
受講対象	■都内中小製造業の現場責任者、または幹部候補の方。 ■生産管理や生産技術に関する経験があり、生産性向上の取り組みについて、予備知識を有する方。 ■PC入力作業の経験がある方。(Excel・PowerPointを使った学習があります)
受講料	100,000円(税込/お一人につき)

## スクール利用企業の声

株式会社今野製作所  
執行役員 業務本部長 今野 三千代 氏

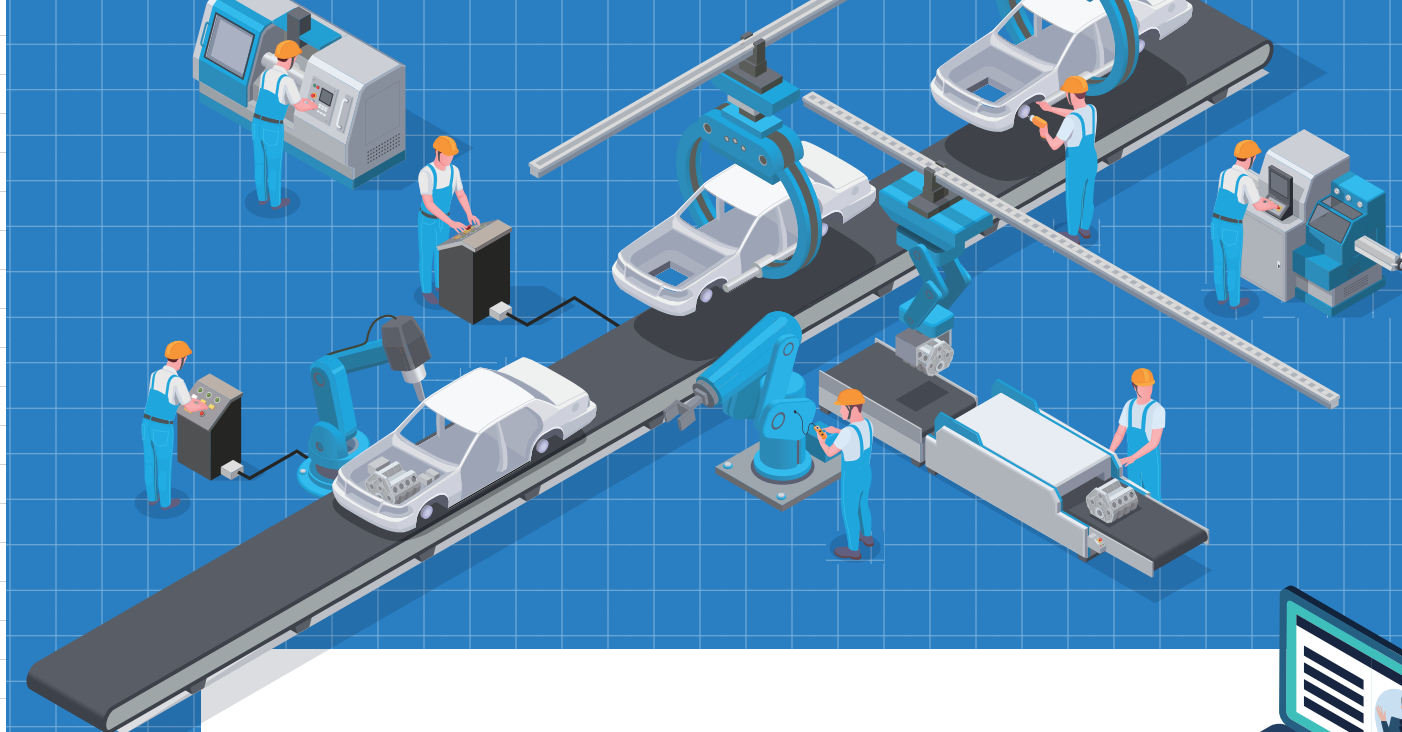
弊社は、企業理念「力をあわせる力がある」を軸に、組織(チーム)を支える一人ひとりの成長を重視しています。このスクールは、社員の成長支援に有効と考え、弊社では計画的に派遣しています。スクールで体系的に学んだ知識や手法が社内での共通言語となり、現場改善・革新に取り組む体制が出来てきていると感じます。また、このスクールでは、座学で学んだことを実際の現場で、インストラクターの支援を受けながら取り組む現場実習もあり、全体最適の視点から業務を見直し、解決すべき課題を絞り込み、具体的な対策案、そして今後3ヵ月の展開計画まで提案する実習も大きな魅力です。さらに弊社では、スクール終了後インストラクター派遣制度を活用し、3ヵ月計画を実行しています。社内外からの協力を得て、力を合わせたことでより成果が上がる経験は、受講生に大きな学びとなりました。



山口証券印刷株式会社  
取締役(経営企画担当) 山口 真司 氏



弊社はブリベイドカード等の有価証券印刷を中心に事業を行い、令和3年に100周年を迎えました。今後も引き続き企業としての「新化」が求められますが、そのためには中核人材の計画的かつ体系的な育成が急務であり、このTPIスクールを受講させることにしました。このスクールの良い点は、まず、藤本先生の『良い設計の良い流れ』に基づく、全体最適の視点(鳥の目)から、「モノと情報の流れ図」等を作成して問題点を的確に絞り込み、さらに細かく分析(虫の目)して真因を掴み改善を進める点にあり、素晴らしいと感じています。さらに、インストラクターの支援を受けながら、座学の内容を実際の現場で体験的に理解する実習まであることです。社内で『良い設計の良い流れ』が共通言語になることを期待しています。貴重な経験が出来るスクールとして、多くの企業で利用して欲しいと思います。



公益財団法人 東京都中小企業振興公社

総合支援部 総合支援課  
〒101-0025  
東京都千代田区神田佐久間町1-9  
東京都産業労働局秋葉原庁舎5F  
TEL:03-3251-7917  
E-mail:seisansei@tokyo-kosha.or.jp  
ホームページ:http://www.tokyo-kosha.or.jp/  
● JR「秋葉原駅」中央改札口徒歩1分

令和4年7月作成。本紙の内容は、予告なく変更する場合がございます。

2022  
8/26(金)  
開講

実践コースで現場改善に  
チャレンジしませんか



TPI Tokyo Productivity Innovation School 改善なければ革新なし!

# 東京都ものづくり 生産性革新スクール

《令和4年度受講生募集案内》

実践コース 生産性を革新するための  
『良い流れ』づくりを具体的に学ぶ

STEP 1  
現状把握

『全体最適』の  
視点から現場を  
現認する

STEP 2  
課題抽出

成果につながる  
真の『ボトルネック』  
を抽出する

STEP 3  
改善活動

淀み(問題点)を  
除き『良い流れ』を  
創出する



公益財団法人 東京都中小企業振興公社



## 『東京都ものづくり生産性革新スクール』とは？



### 新たな付加価値を生み出す中核人材を育成する

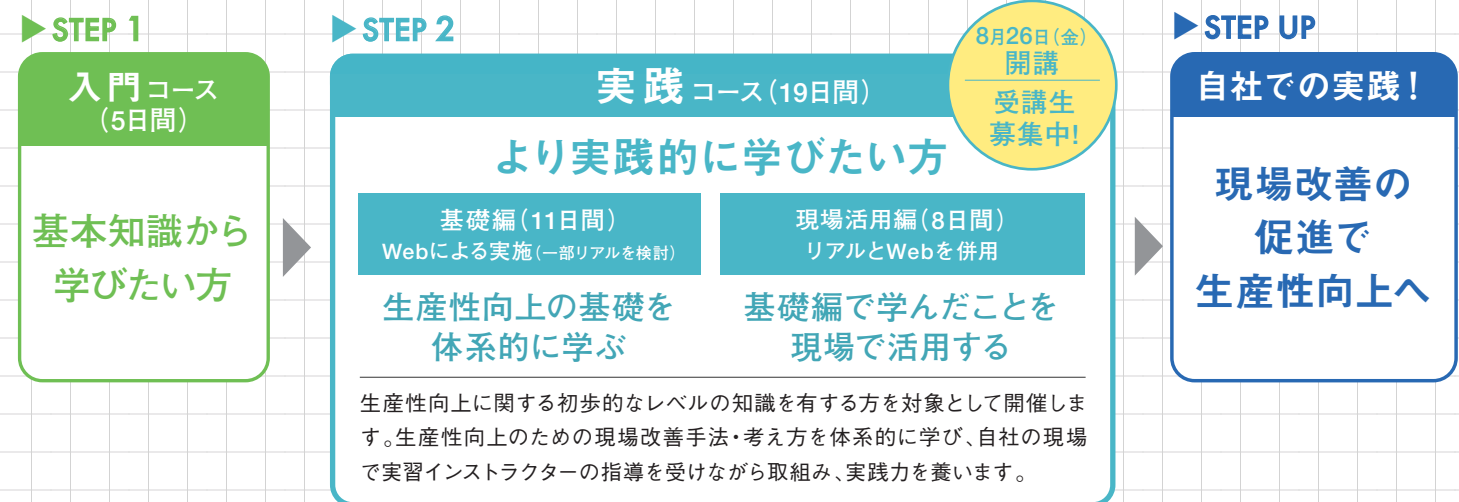
当スクールは中小企業の持続的な成長において、新たな付加価値を生み出す「生産性の革新」を担う

「中核人材」の育成を目的として平成28年に開講し、本年度で第7期目を迎えました。

この間にも、技術革新やデジタル技術の導入が進み、さらに新型コロナウイルスの感染拡大により、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しており、中核人材育成の重要性はより一層高まっています。このような状況において、これまでのスクールをパワーアップさせ、令和4年度より「東京都ものづくり生産性革新スクール」を開講します。

### 「東京都ものづくり生産性革新スクール」の構成

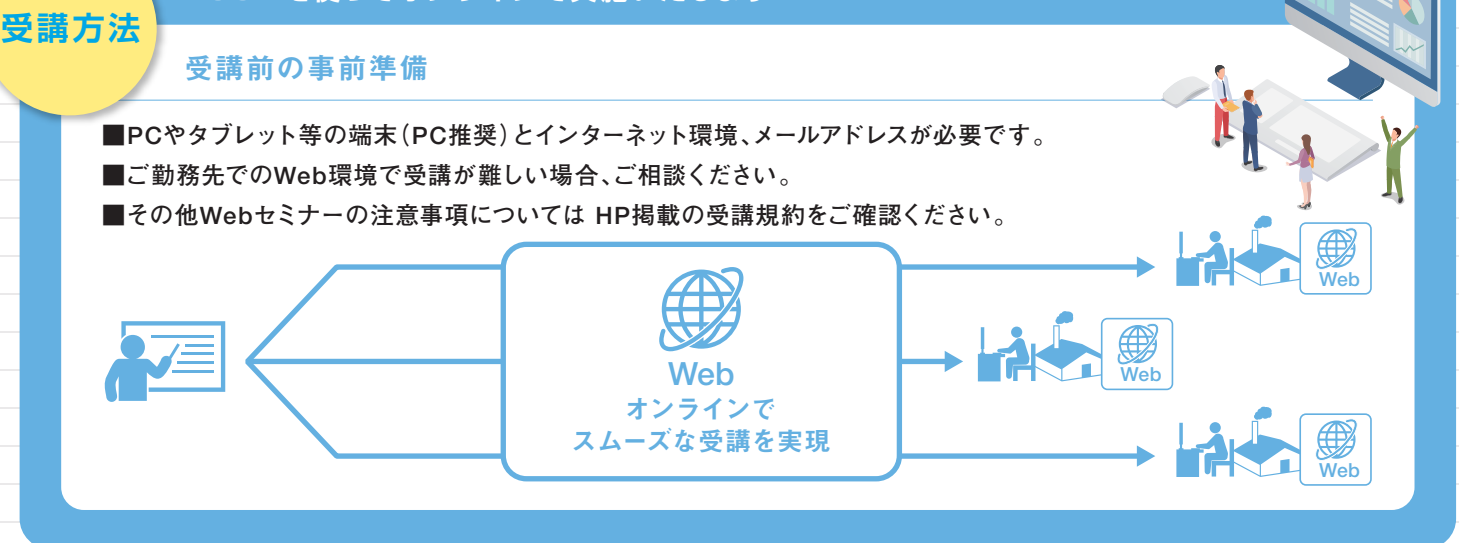
【入門コース】と【実践コース】により構成され、受講目的により個別にコースを選択し、受講することも可能です。



### 実践コースの受講方法

- 基礎編 (11日間)** Zoomを活用した講義で、改善の基礎知識を体系的に学習していただきます。
- 現場活用編 (8日間)** 前半で学んだ知識を活用し、自社の現場で具体的な改善テーマを決め、インストラクターの指導を受けながら、取り組んでいただきます。現場での指導(リアル)とZoomを活用した指導(Web)を併用して実施します。

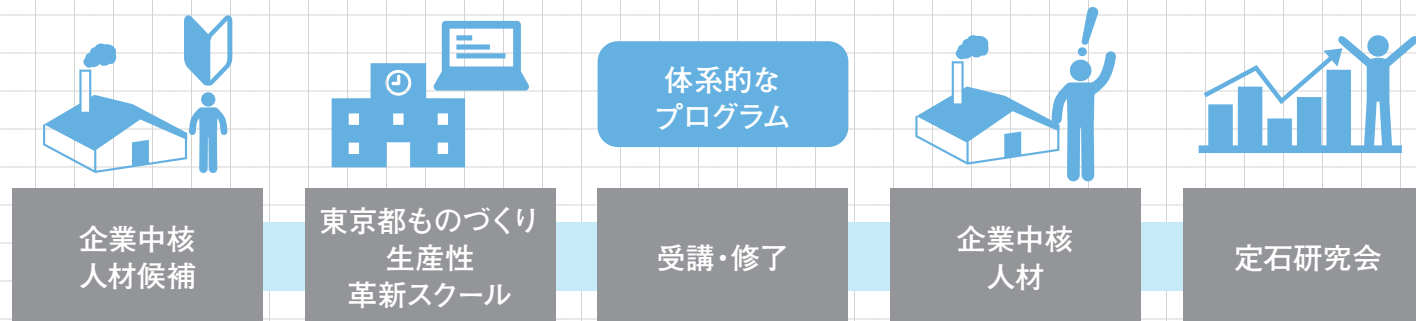
### ZOOMを使ってオンラインで実施いたします



## 『東京都ものづくり生産性革新スクール』の特徴

当スクールは、藤本隆宏早稲田大学教授・東京大学名誉教授のものづくり理論の基軸である『良い設計の良い流れ』をベースとした現場実習を含む体系的な研修プログラムをご用意しています。また、講義については、現場支援の経験が豊富な講師陣が担当いたします。

スクール修了後、修了生の皆様には改善活動の中心となって活躍されることを期待します。なお、各期の修了生が自社での取組みや成果を発表して相互交流する機会として定石研究会も設けています。

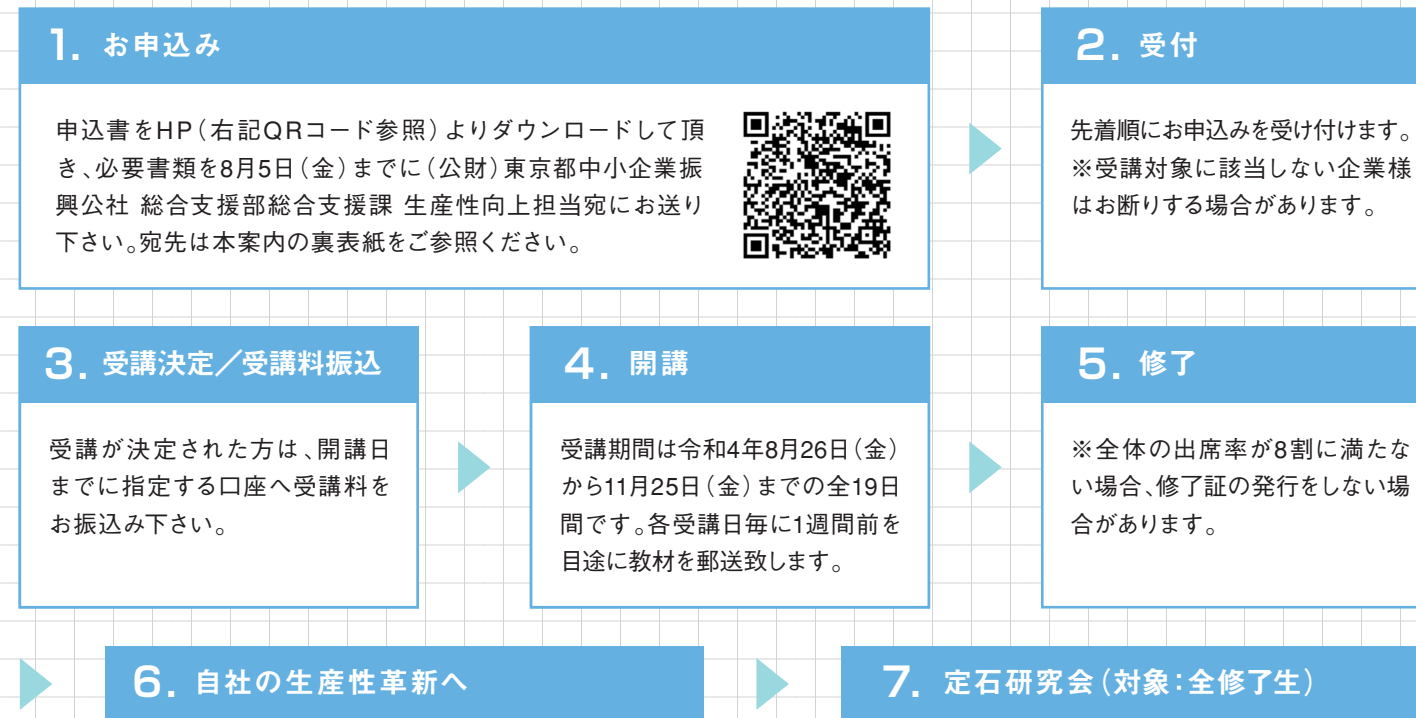


- 1 全体最適を目指し、藤本隆宏教授の『良い設計の良い流れ』を基軸にした現場改善活動。
- 2 座学で学んだ体系的な知識を、自社での現場改善活動を通じて、体験的に理解できる。
- 3 スクール修了後、経験豊富なアドバイザー派遣による継続的なフォローアップも可能。

### 『良い設計の良い流れ』とは

現場とは、付加価値の流れる場所であり、付加価値は設計情報に宿り、「良い設計」とは付加価値を拡大することであり、「良い流れ」とは顧客へ向かう付加価値の流れの淀み(問題点、ムダ等)を発見、改善することです。生産性を向上させるためには、ロボットやITを導入する前に、まず現場の流れを妨げる要因(淀み)を取り除き、現場に『良い設計の良い流れ』を創出することが必要です。

## 申込み・受講の流れ



## 第7期カリキュラムと講師

- 特色** 「良い設計の良い流れ」を意識した体系的なプログラム
- グループワーク、事例研究を通して実践的に学べるカリキュラム
- 前半の基礎編で得た知識をすぐに自社の改善に活かせる構成

### カリキュラム

基礎編(座学で、改善手法の基礎と活用方法を学ぶ)		No.				実施日		ねらい		午前		午後		プレ講習(予習) 16:00
										9:30	12:00	13:00	15:30	
1	8月26日(金)	概論	開講式・自己紹介	企業	の現場を知る	ものづくり基礎概念	競争力と企業パフォーマンス							
2	9月2日(金)	基礎	QCの基礎知識と活用											
3	9月9日(金)		IEの基礎知識と活用											
4	9月16日(金)		標準作業と標準時間	VA / VEの基本知識と活用										
5	9月22日(木)	生産性改善の良い流れ(特別講話)	現場改善の進め方(基礎編)											
6	9月30日(金)	納期・工程	在庫管理	全体最適による問題解決										
7	10月7日(金)	全体最適による問題解決(事例によるワークショップ)												
8	10月14日(金)	ものづくり会計	生産設備のしくみを学ぶ1(設備管理の基本)											
9	10月21日(金)	生産設備のしくみを学ぶ2(技能伝承の方法)	生産設備のしくみを学ぶ3(設備保全の重要性)											
10	10月27日(木)	現場改善の進め方(実践編)	改善事例を活用したグループ実習1											
11	10月28日(金)	改善事例を活用したグループ実習2	まとめ	報告会	現場実習を前に(特別講話)	現場実習の説明								

### 現場活用編(所属企業ごとに改善テーマを決め、インストラクターの支援を受けながら取組む)

No.	実施日	ねらい	内容	
12	11月2日(水)	企業・現場実習(1-1)	問題点の抽出	
13	11月4日(金)	企業・現場実習(1-2)	ものと情報の流れ図(現状)・兆候の絞込み	
14	11月9日(水)	企業・現場実習(2-1)	問題点の深掘り	
15	11月11日(金)	企業・現場実習(2-2)	兆候シート・改善策の検討	
16	11月16日(水)	企業・現場実習(3-1)	ものと情報の流れ図(狙うべき姿)	
17	11月18日(金)	企業・現場実習(3-2)	報告資料作成(今後の計画を含む)	
18	11月23日(水)	現場実習・報告会(各企業別)		
19	11月25日(金)	報告会	現場実習・報告会(全体)	修了式

※①講義の内容は予告なく変更する場合があります。 ※②基礎編、現場活用編両方の受講をお願いします。 ※③報告会で発表して頂く資料は、受講生自身でPCにて作成して頂く必要があります。 ※④8月26日(金)、11月25日(金)はリアル(集合形式)での開催を予定しています。

### 講師、インストラクター紹介

- 主任講師 竹中 秀夫**  
グンゼ(株)出身。現場での生産管理・改善活動を経て、生産性向上、教育、人事と広範囲な業務に従事。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第1期修了後、国内外において生産性革新活動を支援。
- 講師 伊藤 雄三**  
山形大学特任教授、米国系精密濾過フィルターメーカーにて、経営全般、工場運営に関与する。多くの企業の現場改善指導や経営アドバイスを実施している。ものづくりシニア塾1期修了。
- 講師 伊藤 雄三**  
山形大学特任教授、米国系精密濾過フィルターメーカーにて、経営全般、工場運営に関与する。多くの企業の現場改善指導や経営アドバイスを実施している。ものづくりシニア塾1期修了。
- 講師 竹野 俊夫**  
高度ポリテクセンター能力開発教授、陸上自衛隊予備自衛官(技能・整備)2等陸曹。ウガンダ等で自動車整備を指導。また企業の現場で設備の保守メンテナンスや保全方法を幅広く支援。著書「目でわかる稼働率の機械保全」「目でわかる稼働率の電気保全」「目でわかる稼働率の設備保全」「作業手順書のつくり方・使い方」(いずれも日刊工業新聞社)など。
- 講師 堀井 求**  
キヤノン(株)出身。ものづくりにおける「淀みのない流れづくり改善」をモットーに現場改善に従事。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第2期修了。
- 講師 飛田 甲次郎**  
元オムロン株式会社執行役員常務。関西IE協会副会長日本電機工業会大阪支部長などを歴任。全体最適のマネジメントに関する最新知識をわかりやすく説明することに定評がある。
- インストラクター 石戸谷 徹**  
大崎電気工業(株)出身。約30年間、新製品の研究開発、生産ラインの立ち上げ、製品のマーケティングに従事。ものづくりシニア塾1期修了。

※講義(座学)担当講師及びインストラクターは、参加人員等により増員、変更になる場合があります。